

悪性腫瘍その他 05 対象疾患:直腸神経内分泌細胞癌(NEC)

【9805】EP(エトポシド+シスプラチン)療法

【投与スケジュール】 1コース=21日(3週)

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W
エトポシド	エトポシド	VP-16	100mg/m ²	↓ Day1 ↓ Day2 ↓ Day3		
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	80mg/m ²	↓ Day1		

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
① (主ルート①)	生理食塩液 1000mL	1本	2時間
	硫酸Mg補正液 1mEq/mL 20mL	1管	
	アスパラカリウム注 10mEq	1管	
内服 (①の途中)	アプレピタントカプセル 125mg	1C	エトポシド投与 1時間 ~1時間30分前
② (主ルート②)	生理食塩液 1000mL	1本	22時間
③ (側ルート①)	アロキシ 0.75mg	1本	15分
	デカドロン 3.3mg	2管	
	生理食塩液 50mL	1本	
④ (側ルート②)	エトポシド	100mg/m ²	2時間
	生理食塩液 500mL	1本	
⑤ (側ルート③)	フロセミド 20mg	1管	15分
	生理食塩液 100mL	1本	
⑥ (側ルート④)	シスプラチン	80 mg/m ²	2時間
	生理食塩液	300mL	
Day2,3			
①④⑤ 主ルート①	ソルデム 1輸液 500mL	3本	24時間持続
内服 (①の途中)	アプレピタントカプセル 80mg	1C	エトポシド投与 1時間 ~1時間30分前
② (側ルート①)	デカドロン 3.3mg	2管	15分
	生理食塩液 50mL	1本	
③ (側ルート②)	エトポシド	100mg/m ²	2時間
	生理食塩液 500mL	1本	

<エトポシド>

・DEHP フリー(もしくは PVC フリー)の点滴セットを使用すること

催吐性	高度リスク(>90%)
組織障害性	エトポシド:炎症性抗がん剤
	シスプラチン:炎症性抗がん剤
代表的副作用	ペブシド: >10%・・・骨髄抑制、悪心、嘔吐、口内炎、脱毛、倦怠感
	シスプラチン>10%・・・悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制 1～10%・・・聴力障害、末梢神経障害、電解質異常(特に低 Mg 血症が特徴的)

【注意事項】

(シスプラチン)

・光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が6時間を超える場合は遮光して投与すること

レジメン登録承認	2015年10月6日 化学療法委員会
参考資料	藤・消化管神経内分泌腫瘍(NET)診療ガイドライン Mitty E, et al. Treatment of poorly differentiated neuroendocrine tumours with etoposide and cisplatin. Br J Cancer. 1999; 81(8): 1351-1355